



学 会 通 信

第 101 号

2022 年 1 月 29 日発行

目次

新会長挨拶・新体制紹介	2
2021 年度 第 28 回日本教育メディア学会年次大会の御礼	7
ICoME2022 のご案内【第一報】	8
第 2 回研究委員会 研究会のご案内（現地開催予定）	9
第 9 期 第 7 回理事会（定例）議事録	10
第 10 期 第 1 回理事会（定例）議事録	12
2021 年度定例総会議事録	13
論文投稿のご案内	14
学会費納入のお願い，入会者・退会者	14

新会長挨拶・新体制紹介

日本教育メディア学会 第10期会長 中橋 雄（日本大学）



この度、日本教育メディア学会の会長を拝命いたしました。本学会の発展に貢献できるよう力を尽くしたいと思えます。本学会は、教育メディア研究の学術的水準を高め、その普及発展を推進することを目的としています。視聴覚教育研究協議会から発展した日本視聴覚教育学会と日本放送教育学会が統合されて生まれた日本視聴覚・放送教育学会から名称変更され、現在に至ります。その源流は1950年代に確認でき、歴史的な蓄積がある学会です。

そうした歴史的な流れの中で、教育メディアを取り巻く様々な変化がありました。例えば、知識や技能の習得に重きがおかれていた時代から、それらを活用して課題を解決する学習や探究を行う学習も重視される時代へと変化しました。こうした学習観や教育観の変化は、教育内容や教育方法を捉え直す機会となりました。また、放送と通信のよさを活かしたコンテンツが開発・提供されるようになったこと、小・中学校の普通教室で大型提示装置、学習者用1人1台情報端末を活用できるようになったことなど、コンテンツやテクノロジーの変化もありました。

私は、約20年前の1999年、大学院生の時に本学会に入会し、研究活動を続けてきましたが、本学会は、こうした変化にしっかりと向き合い、柔軟に対応してきたように感じています。それは、研究者、教師、企業の方々といった多様な立場、ベテランと若手といった多様な世代の価値観が相互に作用することで可能となったことではないかと考えています。こうした研究の蓄積は、これからの時代を切り拓いていく上でも活かされるものであり、本学会の存在意義と社会的な責任は、さらに大きなものになっていくに違いありません。それを踏まえ、私は、この3年間の任期の間に、先人たちの築いてきた基盤を活かし、さらなる発展を目指して、重点課題として以下の3点に取り組みたいと考えています。

1つ目は、先人の知を継承するとともに新しい知を創造するために、ベテラン研究者と若手研究者が交流できる場をさらに充実させることです。本学会の発展を考えるならば、次世代を担う仲間を増やしていくことが重要になります。大学院生のみならず学部生でも学会に参加・交流・発表しやすい場を作ることが望ましいといえるでしょう。また、年次大会企画の中に若手研究者の研究を多くの方々にご提供いただく機会を設けることや、新たな顕彰の機会を設けるなど、研究活動を奨励していくことができると考えています。

2つ目は、研究倫理に関する意識を共有するための取り組みを行うことです。不正行為については、文部科学省において「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」が公開されるなど、一般的な理解は共有されていると考えられます。しかしながら、そうした一般的な理解を前提とし

て本学会が運営されていることや、やってもよいことについては明文化されておらず、認識のズレが生じやすい状況にあります。会員が安心して学会活動に取り組めるように、論文投稿や研究発表の募集をする文書において研究倫理に関する認識を共有できるような内容を加えることができると考えています。

3つ目は、会員からの意見を積極的に聞き取り、学会運営や具体的な企画に活かしていくことです。もちろんこれまでの学会運営においても会員にとって有益なサービスが展開されてきたと思います。しかし、それは学会運営の中核を担う人々が状況を捉えて企画してきたことが多く、会員に対して広く意見を募る試みはあまりなかったように思います。多様な世代、価値観をもった会員がいることを活かして、会員のアイデアに基づく将来構想を描き、新しい取り組みに挑戦したいと考えています。

以上のように、これまでに培われた本学会のよさを守りながら、絶えず進化していく学会を、皆さまと一緒に作り上げていきたいと思えます。ご支援いただきたく、よろしくお願いいたします。

2022年1月23日

新体制紹介

第10期の運営体制が決定しましたので、以下の通りご紹介いたします。なお、この情報は状況に応じて更新されます。最新の情報は、学会 Web サイトをご確認ください。どうぞよろしくお願いいたします。

第10期 会長・副会長（理事）・理事・監事・各種委員等（2021年12月18日～現在）
（敬称略。各役職内の掲載順は順不同。）

■会長

中橋雄（日本大学）

■副会長（理事）

宇治橋祐之（NHK放送文化研究所）

村上正行（大阪大学）

■理事

浅井和行（京都教育大学）

池尻良平（東京大学）

市川尚（岩手県立大学）

稲垣忠（東北学院大学）

岩崎千晶（関西大学）

小柳和喜雄（関西大学）

亀井美穂子（椋山女学園大学）（任期：2022年4月1日～2023年3月31日）

岸磨貴子（明治大学）
黒上晴夫（関西大学）
後藤康志（新潟大学）
小林祐紀（茨城大学）
今野貴之（明星大学）
佐藤和紀（信州大学）
佐藤慎一（日本福祉大学）
鈴木克明（熊本大学）
関戸康友（パナソニック教育財団）
泰山裕（鳴門教育大学）
高橋純（東京学芸大学）
寺嶋浩介（大阪教育大学）
中川一史（放送大学）
永田智子（兵庫教育大学）
堀田博史（園田学園女子大学）
堀田龍也（東北大学）
森田裕介（早稲田大学）（任期：2021年4月1日～2022年3月31日）
山本良太（東京大学）
渡辺雄貴（東京理科大学）

■監事

久保田賢一（Forum for i-Learning Creation (FiLC)）
佐々木輝美（獨協大学）

■各種委員等

◆事務局

事務局長 今野貴之（明星大学）
副事務局長 池尻良平（東京大学）
事務局補佐 高林友美（サイバー大学）

◆編集委員会

*国内ジャーナル担当

委員長 小柳和喜雄（関西大学）
副委員長 後藤康志（新潟大学）
副委員長 高橋純（東京学芸大学）
委員 石川勝博（常磐大学）
委員 木村明憲（桃山学院教育大学）
委員 佐藤幸江（放送大学）

委員 柴山英樹（日本大学）
委員 瀬戸崎典夫（長崎大学）
委員 田口真奈（京都大学）
委員 時任隼平（関西学院大学）
委員 松下幸司（香川大学）
委員 三井一希（常葉大学）
委員 森下孟（信州大学）
委員 山本朋弘（中村学園大学）
委員 渡邊文枝（早稲田大学）

*国際ジャーナル担当

委員長 佐藤慎一（日本福祉大学）
副委員長 寺嶋浩介（大阪教育大学）
副委員長 泰山裕（鳴門教育大学）
委員 青木浩幸（国際基督教大学）
委員 阿部真由美（早稲田大学）
委員 齋藤ひとみ（愛知教育大学）
委員 竹岡篤永（新潟大学）
委員 宮添輝美（東京理科大学）

◆研究委員会

*国内研究会担当

委員長 稲垣忠（東北学院大学）
副委員長 佐藤和紀（信州大学）
委員 後藤心平（広島経済大学）
委員 登本洋子（東京学芸大学）
委員 木村明憲（桃山学院教育大学）
委員 瀬戸崎典夫（長崎大学）

*国際研究会担当（ICoME等）

委員長 岸磨貴子（明治大学）
副委員長 渡辺雄貴（東京理科大学）
副委員長 山本良太（東京大学）
委員 工藤雅之（藤女子大学）
委員 千葉美保子（甲南大学）
委員 長濱澄（東北大学）
委員 張曉紅（熊本大学）

◆年次大会委員会

- 委員長 堀田博史（園田学園女子大学）
- 副委員長 小林祐紀（茨城大学）
- 副委員長 森田裕介（早稲田大学）（任期：2021年4月1日～2022年3月31日）
- 副委員長 亀井美穂子（椋山女学園大学）（任期：2022年4月1日～2023年3月31日）
- 委員 福田晃（金沢大学附属小）
- 委員 前田康裕（熊本市教育センター）
- 委員 山口好和（北海道教育大学）
- 委員 亀井美穂子（椋山女学園大学）
- 委員 石井芳生（関西大学初等部）
- 委員 渡邊光浩（鹿児島女子短期大学）

◆広報委員会

- 委員長 岩崎千晶（関西大学）
- 副委員長 永田智子（兵庫教育大学）
- 委員 井ノ上憲司（大阪大学）
- 委員 尾崎拓郎（大阪教育大学）
- 委員 高橋曉子（千葉工業大学）
- 委員 多田泰紘（京都橘大学）

◆企画委員会

- 委員長 中川一史（放送大学）
- 副委員長 市川尚（岩手県立大学）
- 副委員長 浅井和行（京都教育大学）
- 副委員長 関戸康友（パナソニック教育財団）

◆日本教育メディア学会論文賞選考委員会

- 委員長 黒上晴夫（関西大学）
- 副委員長 鈴木克明（熊本大学）
- 委員 田口真奈（京都大学）
- 委員 登本洋子（東京学芸大学）

◆渉外

- 堀田龍也（東北大学）

2022年1月23日更新

以上

2021 年度 第 28 回日本教育メディア学会年次大会の御礼

大会実行委員長 森田裕介（早稲田大学）

第 28 回年次大会は、2021 年 12 月 18 日（土）・19 日（日）にオンラインで開催され、199 名のご参加を賜りました。年末のご多用の中、多くの方にご参加いただき盛会となりましたこと、厚く御礼申し上げます。

本大会では、2 つの大会企画を実施しました。大会企画 1 では、「あたらしい学校と教育メディア」と題し、稲垣忠氏（東北学院大学）のコーディネートののもと、荒木貴之氏（ドルトン東京学園中学校・高等学校・校長）、三宅貴久子氏（瀬戸 SOLAN 小学校・副校長）、有山裕美子氏（軽井沢風越学園・教諭）にご登壇いただきました。また、すでに先駆的な教育メディアの活用と教育課程を実施している私立学校から最新の取り組みを伺い、教育メディア研究の新たな活用について議論を行いました。大会企画 2 では、「教育改革と教育メディア研究」と題したシンポジウムを開催しました。話題提供として、大多和直樹氏（お茶の水女子大学）にご登壇いただき、教育メディアの役割と多様な学びの評価の役割について、教育社会学の立場から理論的かつ批判的にご講演をいただきました。また、今野貴之氏（明星大学）のコーディネートののもと、宇治橋祐之氏（NHK 放送文化研究所）と森田が登壇し、それぞれの観点について対談形式で議論を深めました。

課題研究では、「1 人 1 台学習者用情報端末とメディア・リテラシー」（発表 4 件）、「教育メディア研究からみたプロジェクト学習」（発表 4 件）、「GIGA スクール時代のデジタルコンテンツ」（発表 4 件）の 3 つのテーマごとに、コーディネータの進行のもとで、活発な議論が行われました。一般研究発表では、5 つのオンライン会場で、合計 37 件の発表がありました。また、企画委員会特別セッション「現職教師がセルフスタディを進めるために」も開催され、齋藤ひとみ氏（愛知教育大学）、寺嶋浩介氏（大阪教育大学）、関戸康友氏（パナソニック教育財団）らのコーディネートののもと、林一真氏（名古屋市立白水小学校）、梅田恭子氏（愛知教育大学）、津下哲也氏（備前市立香登小学校）、中川一史氏（放送大学）、斉田俊平氏（大阪市立今里小学校）、寺嶋浩介氏（大阪教育大学）らをパネリストとした討論がなされました。

振り返ってみますと、当初は 10 月に早稲田大学を会場として開催する予定でしたが、昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を鑑み、12 月のオンライン開催となりました。今大会では、オンライン決済を含めたイベント管理システム Peatix を導入し、運営上の負担となる入金管理等を改善しました。また、アナウンス等の一元化を図りました。第 26 回年次大会（対面開催）や第 27 回年次大会（初のオンライン開催）を上回る参加人数となりましたのは、こうした運営側の改善に加え、参加者の方々がオンライン開催に適応してこられた結果ではないかと考えており

ます。

本大会につきましては、多くの方々のご支援に支えられ、また励まされ、無事に閉会を迎えることができました。ご参加くださった皆様が、新しい知見を得たり、議論をしたりするなど有益な時間を過ごせたのであれば幸いに存じます。今後の本学会の発展を祈念し、次年度の年次大会の開催をご担当される椙山女学園大学（名古屋市）に禱をお渡しいたします。

ICoME2022のご案内【第一報】

研究委員会（国際研究会担当）

ICoME（International Conference for Media in Education）第20回目はハワイ大学で実施します。ICoMEは、日本教育メディア学会（JAEMS）、韓国教育情報メディア学会（KAEIM）、中国教育工学会（CAET）、アメリカTCC（Technology, Colleges and Community）オンラインカンファレンスとの連携によって、開催される国際学会です。

ICoME2022は、現時点ではオンラインでの開催を予定しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、現地開催へと変更する可能性もあります。その際は学会通信あるいはメーリングリスト等を通じてお知らせいたしますので、現時点では現地開催のお心づもりにてご予約を調整いただけますと幸いです。

■日時：2022年8月3日（水）－4日（木）※米国時間

■場所：オンライン開催（場合によってはハワイ大学にて開催）

■ウェブサイト：準備中（2022年2月1日オープン予定）

■今後のスケジュール

2022年2月1日：ウェブサイト開設、参加者および発表者募集

2022年4月20日：コンカレントセッションでの発表者の概要提出期日

2022年5月15日：コンカレントセッションでの発表採否の通知

2022年5月15日：ラウンドテーブルセッションでの発表者の概要提出期日

2022年5月31日：ラウンドテーブルセッションでの発表採否の通知

2022年6月30日：全ての発表セッションの原稿提出期日

2022年7月1日：参加申し込み締め切り

2022年7月20日：プログラムの案内

2022年8月3-4日：ICoME2022（オンライン、場合によってはハワイでの開催）

ICoME 2022 Schedule

- 1 February: Call for papers, open conference website
- 20 April: Deadline for the abstract submission (Concurrent Sessions)
- 15 May: Send acceptances to concurrent session presenters
- 15 May: Deadline for the abstract submission (Roundtable Sessions)
- 31 May: Send acceptances to roundtable session presenters
- 30 June: Deadline for the paper submissions (both Concurrent and Roundtable Sessions)
- 1 July: Registration deadline
- 20 July: Program Announcement (all sessions, keynote speeches, and event)
- 3-4 August: Conference, online pending coronavirus status in Hawaii.

第2回研究委員会 研究会のご案内（現地開催予定）

テーマ「1人1台端末環境での新たな学びとメディアリテラシー／一般」

■日時：2022年2月27日(日) 中村学園大学

■担当：中村学園大学教育学部・山本朋弘

GIGA スクール構想によって、児童生徒の1人1台端末環境が整備され、小中学校では導入期から活用期に移行する段階であり、高等学校の端末整備も進んでいます。特に、コロナ禍の状況もあって、オンライン授業に取り組む学校が増えてきました。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められる中、1人1台の情報端末環境を活かした新たな学びを構築していく段階にあります。このような新たな学びを考えていく上において、メディアの活用は、避けて通れない課題といえます。

従来の教師主導の学びから学習者中心の授業への移行、児童生徒のリテラシーの育成、1人1台の情報端末環境を活かした実践研究が各地で進められています。また、ネットいじめや個人情報保護など、メディアとどう向き合うかについても議論が起きています。さらに、教員養成や教員研修でも、教師の授業デザイン力等を高める方策が提案されています。

本研究会では、このような研究成果や課題を多くの皆様にご報告いただき、今後の可能性を探っていきたいと思います。1人1台端末環境での新たな学びやメディアリテラシーに関する実践研究、開発研究、能力育成、教師教育など、幅広いご発表を募集いたします。学校の授業に限らず、家庭での利活用も含めて、多面的に議論を深めていきたいと思います。

■プログラム公開日 2022年2月1日（水）

■参加申込期間 2022年2月1日（水）～2022年2月20日（日）

■研究会当日 2022年2月27日（日）

会場：中村学園大学7号館 7501教室, 7502教室, 7503教室

アクセス：

<https://www.nakamura-u.ac.jp/outline/map.html>

<https://www.nakamura-u.ac.jp/outline/pdf/map.pdf>

※10月1日時点では、現地開催としています。コロナ禍の状況によっては、オンライン開催に変更する場合があります。

第9期 第7回理事会（定例） 議事録

[日 時] 2021年12月18日（土）9：30-10：50

[場 所] Zoomによるオンライン会議

[出席予定者] 会長，理事21名，監事2名

会長 小柳和喜雄

理事 宇治橋祐之，中橋雄，永田智子，泰山裕，堀田博史，後藤康志，山本良太，関戸康友，村上正行，影戸誠，渡辺雄貴，岸磨貴子，今野貴之，佐藤慎一，堀田龍也，岩崎千晶，森田裕介，中川一史，稲垣忠，黒上晴夫，齋藤ひとみ

監事 佐々木輝美，浦野弘

事務局 池尻良平

欠席 鈴木克明，久保田賢一，寺嶋浩介

<審議・報告事項>

(1) 事務局

- ・入会者・退会者・除籍者について（事務局）【資料1】

事務局より資料1に基づいて報告，原案通り承認された。

- ・決算・予算の修正について【資料2】

事務局より資料2に基づいて，収支決算表の修正箇所について説明があり，審議の結果，承認された。

また浦野監事から監査経過説明に加えて，決算表の内容，項目の検討の必要性について指摘があった。

(2) 編集委員会（国内担当）

黒上委員長より，資料に基づいて論文の査読状況，査読システムの準備状況について報告があった。

(3) 編集委員会（国際担当）【資料3】

佐藤委員長より，資料3に基づいて論文誌 Vol.15, No.1 の状況について，査読システムの準備状

況、Vol.15, No.2 の準備状況について報告があった。

(4) 研究委員会（国内担当）

堀田委員長より第1回研究会の開催報告がなされた。第2回研究会は中村学園大学で対面開催予定であること、参加募集について総会で案内をする旨、報告された。

(5) 研究委員会（国際担当）【資料4】

岸委員長より ICoME2021 の開催報告がなされた。次回、ICoME2022（ハワイ・オンライン開催）について、報告された。合わせて、ICoME MOU、ガイドライン作成について報告がなされた。MOU について、議論があり、検討を進める方向で了承された。

(6) 年次大会委員会【資料5】

森田年次大会実行委員長より大会運営状況についての報告がなされた。続いて、稲垣委員長から参加者数や発表件数等について報告された。また、来年度の29回年次大会について、11月26日、27日椋山女学園大学を会場に開催を計画している旨、報告がなされた。

(7) 広報委員会

渡辺委員長より Web の更新体制、状況について報告、必要に応じて更新権限を各委員会に与えることも検討が必要だと思われる旨、報告があった。岩崎副委員長より学会通信の状況について報告があった。また、今後の Web 更新権限について提案があり、各種委員会に更新権限を付与していく方向で進める旨、報告がなされた。

(8) 企画委員会

齋藤副委員長より、年次大会2日目の企画セッションについて報告された。

(9) 日本教育メディア学会論文賞選考委員会（中川）

中川委員長より論文賞の選考過程について報告があった。今年度の対象論文が12本（昨年度4本）となり、各委員の得点に加え、複合的な視点で推薦されたものである旨、報告された。

(10) その他

宇治橋選挙管理委員長より、会長、理事選挙過程とその結果について報告があった。この後、小柳会長、中橋新会長候補が進めていくことが確認された。中橋新会長候補から挨拶がなされ、第10期理事・監事の候補者について報告があった。

以上

第 10 期 第 1 回理事会（定例） 議事録

[日 時] 2021 年 12 月 18 日（土）11:00-12:00

[場 所] テレビ会議（Zoom）で結び実施

[出席者] 会長，理事 24 名，監事 1 名

会長 中橋雄

理事 宇治橋祐之，村上正行，浅井和行，池尻良平，市川尚，稲垣忠，岩崎千晶，小柳和喜雄，岸磨貴子，黒上晴夫，後藤康志，小林祐紀，今野貴之，佐藤和紀，佐藤慎一，関戸康友，泰山裕，高橋純，堀田龍也，堀田博史，中川一史，永田智子，山本良太，渡辺雄貴

オブザーバー 亀井美穂子（次年度大会実行委員長）

監事 佐々木輝美

事務局 高林友美

欠席： 久保田賢一，鈴木克明，寺嶋浩介，森田裕介

< 審議・報告事項 >

（1）役職分担について（事務局）

資料に基づき，役職分担について提案があり，審議の結果承認された。

（2）学会通信の台割りについて（広報委員会）

資料に基づき，学会通信の台割りについて提案があり，審議の結果承認された。また，学会通信の各回のフローについて報告された。

（3）9 期理事会の報告（事務局）

9 期理事会の資料を後日共有することが報告された。

（4）今後の計画について（各種委員会）

各委員より，今後の抱負が述べられた。

（5）予算の執行と会計報告のお願い（事務局）

予算を積極的に学会員のために使ってほしい旨について報告された。また，領収書のルールの詳細は後日連絡することについて報告された。

（6）総会での報告内容について

資料に基づき，総会での報告内容について報告された。

（7）その他

2022 年の理事会の予定について報告された。

2021 年度 定例総会 議事録

1.日 時：2021 年 12 月 18 日（土）13：00－13：50（年次大会第 1 日目）

2.場 所：オンライン開催

3.内 容：

（1）議案

議事に先立ち、永田事務局長から、有効な委任状（議決権を議長に委任）が 50 通電子総会システムより提出されており、総会への参加者が 77 名であり、学会会則第 44 条に従って 2021 年度定例総会が成立していることが報告された。また、会場校を代表して須賀光一早稲田大学総長、森田大会実行委員長、稲垣年次大会委員長より挨拶があった。

第 1 号議案 2020 年度事業報告及び収支決算承認の件

永田事務局長より、第 1 号議案として機関誌発行、年次大会の開催、学术交流等、2020 年度事業報告及び収支決算（案）が報告された。浦野監事より、通帳、領収書、帳簿を確認した結果、正確であったことが報告され、審議の結果、2020 年度事業報告及び収支決算について、異議なく承認された。

第 2 号議案 2021 年度事業計画及び収支予算案承認の件

永田事務局長より、第 2 号議案として、機関誌発行、年次大会の開催、学术交流等、2021 年度収支予算（案）が報告された。審議の結果、2020 年度事業計画及び収支予算（案）について、異議なく承認された。

第 3 号議案 第 10 期会長・理事・監事承認の件

宇治橋選挙管理委員長より、会長・理事選挙の結果について、選挙過程・結果について報告され、中橋雄（日本大学）が会長候補者として当選されたこと、また理事選挙の結果として 20 名が選出されたことが報告された。それを踏まえ、会長候補について審議され、異議なく承認された。その後、中橋新会長から選挙結果に基づいた第 10 期理事・監事案について報告され、異議なく承認された。

（2）報告事項

①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査報告と結果報告

中川論文賞選考委員会委員長より「日本教育メディア学会論文賞」審議経過と結果が報告され、表彰が行われた。

受賞者名：木村明憲，黒上晴夫

論文名：小学校社会科における児童が主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程モデルの効果

掲載論文誌：教育メディア研究 第27巻第2号

②2022年度年次大会の件

2022年度年次大会が、2022年11月26日-27日に椙山女学園大学での開催を検討していることが報告された。

③その他

各研究会から報告，案内があった。

堀田（博）研究委員会（国内）委員長より，第1回研究の開催報告，第2回研究会の参加募集についての案内があった。

岸研究委員会（国際）委員長より，ICoME2021の開催報告と，ICoME2022の開催について案内があった。

黒上編集委員会（国内）委員長より，新たな査読システムについて報告があった。

佐藤編集委員会（国際）委員長より，国際ジャーナルにおける査読システムとICoMEジャーナルの投稿募集について案内があった。

齋藤企画委員会副委員長より，大会中の企画委員会特別セッションについて案内があった。

以上

論文投稿のご案内

編集委員会

〆切：随時

『教育メディア研究』では，一般論文を広く募集しています。〆切は特にありません。随時受け付け，その都度，査読プロセスを始めています。多くの会員の方からの投稿を期待しています。

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。

論文誌は、会費が納められている会員に対してのみ発送しております。まだ納付されていない会員につきましては、納められたことを確認した後、発送いたします。

銀行振り込みをご希望される場合は、下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨニイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガクカイ）
--

- ※ 振込手数料は、ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合、手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は、振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」にして下さい。それが出来ない場合は振込後、事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には、学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は、学生・大学院生（社会人学生を除く）です。会費納入に併せて学生証などの証明書類を事務局宛に提出してください（スキャナ、デジタルカメラ等で取り込んだデータのメール添付でも受け付けます）。

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では、「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また、学会論文誌「教育メディア研究」を郵送しております。これらを確実にお届けするために、学会からのメール・学会論文誌が届いていない方は、会員マイページにログインの上、登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また、まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も、この機会にマイページ登録をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

新入会員・正会員（4名）・・・高野雄生，小谷拓，中西隆英，寺内愛

新入会員・学生会員（5名）・・・津下哲也，徳本和希，当麻由惟，中川哲，木村友大

退会者・学生会員（1名）・・・竹上瑞穂

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条の改正が承認されました。改正された規定では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。

会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局（office@jaems.jp）までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

(1) 正会員，学生会員，団体会員ならびに購読会員が，会費を3年間滞納したとき，その年度末をもって除籍され，会員の資格を喪失する。

(2) 除籍された元会員が再入会するとき，滞納会費の納入を要する。

会員総数 350名・14団体

名誉会員：4名

正会員：301名

学生会員：45名

団体会員：6団体

購読会員：8団体

(令和4年1月26日現在)

日本教育メディア学会 事務局	広報委員会
〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 永田智子 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	委員長 渡辺雄貴 (東京理科大学) 副委員長 岩崎千晶 (関西大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 遠海友紀 (東北学院大学) 竹中喜一 (愛媛大学) 多田泰紘 (京都橘大学)